

「エコシティたかつ」推進事業 プロジェクト展開スケジュール(案)

短期の「12のプロジェクト」 2009～
2010

リーディングプロジェクト

その他のプロジェクト

中期的なプロジェクト 2011～2013(第3期実行計画期間)

長期的なプロジェクト案
2014～2018

●地図による地域環境資源の共有化の促進

水系や流域等のランドスケープを重視し、地域資源を入れたベースマップの作成に市民協働で取り組む。また、高津区ヒートアイランドプロジェクトとして、区民参加のヒートアイランド調査を実施した。

●エコシティホール化の推進

庁舎を環境展示場「エコシティホール」とし、来庁者への環境教育の場とする。高津区役所庁舎屋上に10kWhの太陽光発電システムを設置し、7月1日に記念セレモニーを実施した。

●緑のカーテン事業の展開

「緑のカーテン」などの環境にやさしい活動の普及啓発・拡大のためコンクール等を実施した。

●各種普及啓発イベントの実施

水との共生をテーマとした「全国円筒分水サミット2011 in たかつ」を、全市展開するニヶ領用水400年記念事業と連携して実施した。

●学校流域プロジェクト

学校を、地域のモデル基地と位置づけ環境学習を実施する。2009年度までの4校に加え、2010年度は、新規2校で事業を実施した。

●橋地区の農資源を活かしたまちづくり

橋地区の地域資源を活かしたまちづくりに取り組む。

●「緑と水でつなぐ歴史街道 花街道」の推進

溝口駅周辺市街地の都市緑化や良好な緑の景観づくりを進める。2010年度は、キラリデッキ付近の街路樹等を整備した。

●雨水利用の促進

雨水利用促進のため、雨水タンクのモニター3組とともに、一年間のモニター活動及びアンケート調査を実施した。また、学校流域プロジェクトとも連携をして取り組んだ。

●再生可能エネルギーの利用促進

高津区役所庁舎屋上に10kWhの太陽光パネルを設置し、設置後には、エコシティホールツアーやエコシティホール化の推進等により、区民への普及啓発活動を推進する。

●「まちなか油田プロジェクト」の調査・研究

市民協働による区内資源循環の側面的支援を行った。

●エコ企業調査プロジェクト

区内企業、商店街を訪問し、企業と市民等のネットワークづくりに向けた取組を進める。

●「エコシティたかつ」推進のための体制づくり

多様な主体の参加、連携と調整や効果的な情報発信等を行う推進体制づくり。

高津区全域での取組

小流域単位での取組

スポット単位の取組

●各種普及啓発活動の推進（推進会議及び推進フォーラムの開催・運営）

今日的な課題に対し、区民向けの各種普及啓発活動を、区民協働（市民・事業者・学校）で実施し、その中で「地球温暖化防止活動推進センター」等との連携を模索する。

- 「エコシティたかつ」推進会議を年3回（6、10、3月）開催する。
- 「エコシティたかつ」推進フォーラムを開催する。
- エコ・エナライフコンクールを実施する。
- 地球温暖化防止活動推進センターとの連携
「CCかわさき交流コーナーにおける「エコシティたかつ」のパネル設置（常設）」
- 節電啓発活動の実施
- 市民主体の各種プロジェクト等の側面的な支援を実施する。

●行政区レベルでの環境マネジメントの実践的な取組

区における全事務事業をエコの視点から見直し、総合的に展開する。

●橋地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進

橋地区の地域資源を活かしたまちづくりに取り組む。

●「たかつの自然の賑わいづくり」事業

水系や流域等のランドスケープや生物多様性の視点を踏まえ、区内を流れている河川の小流域を単位として水・緑・生きものの調査（外来植物や外来生き物探しを含む）を市民協働で行い、さまざまな活動を通して、保水力・土砂防災力の高い流域づくりへの貢献及び自然の賑わいの回復を目指す。

- 「たかつ水と緑の探検隊調査」を2か所で実施し、温暖化適応策的な改善策を部分的・段階的に進めていく。
※候補地：市立緑ヶ丘霊園ほか

●円筒分水、かすみ堤を活かした「緑の回廊」づくりの推進

区の地域資源である円筒分水やかすみ堤の活用等を進めるとともに、ニヶ領用水から多摩川へ通じる緑の回廊（コリドー）づくりに区民協働で取り組む。

●学校流域プロジェクト

学校を、健全な水循環と生きものの賑わいを再生し支える地域のモデル基地と位置づけ、地域と密着した環境学習を実施する。現在14校整備実施済。

※整備未実施の子母口小は、2014年度以降の改築工事終了後に整備予定。

- 学校ビオトープ（池、林等）の整備支援及び定期的な環境学習支援を行う。
特別支援学校（市立養護学校）へのビオトープ整備の検討・調整・実施
- 雨水利用の促進等のモデル的な取組について検討・調整していく。
- 学校ビオトープを活用した環境学習の指導・育成として、教職員向けの学習会等を開催する。
(年1回程度)
- 学習支援を支えるボランティア・スタッフ等の育成を検討する。

●エコシティホール化の推進

区役所庁舎を環境展示場「エコシティホール」とし環境学習の場として活用した環境啓発を実施する。

- 「エコシティホールツアー」により、見学者への案内を通して、環境啓発を行う。
- 産学官連携の共同実験を実施する。「ウレタン基盤材による屋上緑化生育実験」
- 地球温暖化防止活動推進センターとの連携

「夏休み自由研究」と連携した、エコシティホールツアーの開催

●自然環境・地域環境に配慮した新たなエコ・コミュニティの検討

●生物多様性の視点によるまちづくりの検討

●小流域単位の健全な水循環の推進



これからの検討課題

●自然共生都市再生の推進に向けた区としての総合行政の展開

●都市の農的空間を活かしたまちづくりの推進

●環境負荷の小さい地域交通政策の検討

●環境活動・環境資源の保全に関する新たな資金支援制度の創出

●中長期的な視点からのまちのあり方に関する検討

●環境視点からの区役所事業の横断的展開